社葬、一転怒りの集会へ

宮島さんの遺族、組合員、主婦会員などの口から、大沢所長ら会社幹部の顔へ、抗議の矢が集中し、つきささる。労働者は、資本の横暴を絶対に許しはしない。

怒りの抗議記録抜萃

通夜にも来ずに――安らかにとは何だ

去る七日午後二時から荒尾市体育館で、三井鉱山主催の〝社葬〟が執行され、これには三池労組の組合員、家族、それにCO患者や遺族たちが参列。前日非情な死を遂げたCO患者・宮島重信さんのめい福を祈ったのだった。

ところが大沢誠一・所長は、故人やその遺族に対して不誠な仕打ちを積み重ねるばかりでなく、その前夜、被災後十年二カ月ぶりに、たとえ冷たい遺体になって自宅に帰ったとはいえ、故人の通夜だというのに、何かと口実にして姿を見せなかったなどの事実が明らかになり、社葬は一転して怒りの抗議集会と化した。ここにその抗議の抜すいを紹介し、闘いを前進させるための一助にしたい。（なお、敬称は略させていただいた）

読教が終わり、いまのいままで長々と列をつくっていた焼香する人々の流れがとだえた。そのなかを僧侶たちが退席していった。

時計の針が、午後四時四十分を指していた。大沢所長が自席を立ち、退席のあいさつをするために、重信さんの父親・富太郎さんの前にすすみ出た。

さっ、と全参列者の目が、所長の口もと一点に集中した。「これをもちまして社葬を終わります」――といったかどうか、所長の口が動いたなと思われた間一髪、富太郎さんの問いの矢が飛んだ。

「あなたは昨日の息子の通夜に、なぜ現地の最高責任者としての姿を見せてはくださらんじゃったとですか」

これが、抗議開始を告げる第一弾となった。社葬は一転して、怒りの渦と化した。以下は、そのごく一部の抜すいである。

母　親（イシさん）　今日は私たちのナットクのゆく会社の考えを聞かしてください。

石　原（CO患者家族の会々長）　あなたは弔辞で「安らかにお眠りください」と読みなはったですが、あげんむごか姿にされて死んでいった重信さんが、なんで安らかに眠れるもんですか。よくも白々しいことがいえたもんですね。

永　江（遺族会役員）　あれが人間の死んだ遺体といえますか。重信さんが亡くなられたことを連絡してから、あなたが重信さんのもとに姿を現わすまで三時間。あなたは弔辞で、「とりいそぎかけつけた」と読まれましたが、大牟田から熊本までのわずかな距離を、とりいそいで三時間もかかるとは何ごとですか。

和　子（妹）　この社葬に私たちとしましては、ほんとうは、兄ちゃんをつれて来たくはなかったです。社葬をしてもらっても、花輪を飾ってもらっても、少しも安らかに眠れるもんですか。よくも白々しいことがいえたもんですね。

（次ページ上段へ続く）

これが有吉新吾社長の弔辞

在天の霊、どうぞ――安らかにお眠り下さい

本日ここに、三井石炭鉱業株式会社三池鉱業所三川鉱勤務、故宮島重信殿の社葬を執行するにあたり、謹んで哀悼のことばを申しのべます。

あなたは今を去る十年前の昭和三十八年十一月九日、三川鉱坑内第一線に於いて作業中、三川鉱災害に遭遇され、懸命の救出作業により、尊い一命をとりとめられましたものの、一酸化炭素中毒に侵されるところとなり、直ちに三井天領病院に入院。間もなく熊本大学付属病院に転院されましたが、以来十年ご両親はじめ、ご近親の方々の懸命のご看護のもと、斯じ得ません。

あなたのこの十年間の苦しみ。また、不眠不休であなたの再起を祈りつつ懸命の看護に当たられた御両親はじめ、ご遺族の悲嘆をお察し申しあげるとき万感胸に迫り、お慰めの言葉もございません。

有吉所長の顔

私どもはこの悲しみを貴重な教訓として災害の絶滅を期し、保安の確保に一層の努力を傾注する覚悟であります。

在天の霊、どうぞ安らかにお眠り下さい。

本日ここにお別れを告ぐるに当たり、ご霊前に謹んで合掌し、敬弔の誠を捧げます。

×

社葬の席で代読されたものです。

千葉の片岡さんから塚本さんへ便り

宮島さんの死を悼んで、次のハガキも寄せられました。

「熊大病院の病室が、今でもありありとまぶたに浮かびます。お父さんとお母さんの悲しみは、言語に絶するものと想像します。怒りを新たに、皆さんの闘争も更に燃えあがることでしょう。二十四時間ストも新聞で知りました。がんばって下さい」

（次ページ上段へ続く）

（次ページ上段へ続く）

たな前進に向けて立ち上がろうではありませんか。社会党は三池の皆さんと共に、全国津々浦々に反独占・反合理化の闘いを組織し、共に闘うことをお誓いします。

衆議院石炭特別委員長・田代文久　宮島重信さんが長い闘病の甲斐なく死亡されたことを、心からお悔み申し上げると共に、エネルギー政策の抜本的改善とCO患者対策強化のために、民主連合政府樹立の必要性を特に痛感しています。

社会主義協会北海道支局　宮島重信さんのご逝去の報に接し、悲しみと憤しみでいっぱいです。人の命より利潤を大切にする三井資本と不屈の闘いをすすめられ、CO患者とその家族、遺族を激励してこられた三池労組の皆さんに心から哀悼の意を表します。私たちは皆さんの闘いと連帯し、なお一層闘いのトリデを強くする決意です。

日放労組青年部　人殺し合理化と闘い、人として生きる闘いの主軸である三池労組の皆さま、今日、合理化、インフレ、公害、職業病など、全国的に闘う同志が結集されています。同志宮島さんの死は、資本の合理化が人殺しであることを、われわれの頭に焼きつけました。あらゆる職場で三井に対し、政府・独占に対し、はげしい勢いで闘いが組織されています。われわれは、この日を生涯忘れることはないでしょう。三池の炎は全国に広がり、三池の闘いの正しさがわれわれの闘いのなかで証明されています。われわれは宮島同志の死に対し、三池の炎をあらゆる職場で燃やし、長期抵抗統一路線を職場抵抗の基本に据えて、三池労組の皆さまと連帯し、反独占・反合理化を闘っていくことを誓います。

長崎県労評　三井独占資本・自民党政府の石炭政策の犠牲となられた故人、ご遺族の皆さまに深く哀悼の意を表します。われわれは七四春闘を通じ、反合理化、人間優先政策への転換闘争と、今なお病床に呻吟されている仲間の救済確立に、全力を尽すことを誓います。

労仂大学　宮島さん、どんなにつらかったことでしょう。あなたはその使命を立派に果たして、今永遠の眠りにつかれる。あなたの頑丈な体が、未来への期待でふくらんでいた青春が、人殺し三井の保安サボで一瞬にして吹き飛ばされ、生ける屍と化されても、あなたは闘うことをやめなかった。あなたは無残な体に十年有余も命の炎を燃やし続け、三井独占資本を告発し続けた。私たちは、あなたが体いっぱいにみなぎらせる無言の怒りを通して、資本主義的合理化の本質を知り、職場で地域で抵抗の炎を拡大してきました。宮島さん、あなたが青春をあがなって私たちに示した資本への怒りは、今りょう原の火のごとく日本を覆っています。独占資本が、労働者の手によって打ち倒される日が、夜明け前の暗闇のなかから刻々と近づいています。宮島さんあなたの意志を継いで、たゆみなく闘い続けます。安らかにお眠りください。

×

なお、弔電は五百通近く寄せられました。右はそのなかのごく一部のものにしか過ぎませんが、なるべく特徴的なものを選んで紹介致しました。